

旭市が
ロケに協力

映画「五十年目の俺たちの旅」が公開

市内各所で撮影が行われた
映画「五十年目の俺たちの旅」が、
令和8年1月9日(金)から
全国の映画館で公開されます。
劇場で、見慣れた風景がスクリーンに
映る喜びを体感してください。



ここで撮影が
行われました

旭市でのロケは今年の4・5月に行われました。中村雅俊さん、田中健さん、秋野太作さんのほか、岡田奈々さん、前田亜季さんといった主要キャストが勢ぞろい。旭らしい海のシーンが印象的です。

市内の飲食店



飯岡海岸沿いにあるハンバーガーカフェ「no Wave」では、オメダ(田中さん)と妹の真弓(岡田さん)がコーヒーを飲みながら、今は亡き洋子(金沢碧さん)を静かに回想するシーンが撮影されました。

旭中央病院



オメダ(田中さん)が娘の真理(前田さん)と向き合うクライマックスで、中村さんも「大事なシーンでした」と話しています。院内の廊下やいす、病室の配置が良く「撮影しやすかった」と中村さんも満足そうでした。

いいおか潮騒ホテル



カースケ(中村さん)とグズ六(秋野さん)が本来、家族以外は入れない病院の中に入るための屋上として撮影に使われました。中村さんも「屋上がいメージに合っていました」と振り返っています。

問い合わせ先
企画政策課政策推進班

☎ 62・5382



ロケ地マップ



あさひロケーション
サービス協議会

映画やドラマなどの撮影地を観光資源として活用し、地域の魅力発信や来訪促進を図る取り組みです。作品をきっかけにロケ地を訪ねる「聖地巡礼」が生まれ、飲食・宿泊・買い物などによる地域経済の活性化にもつながります。市では、ロケ地マップを作成・配布し、ロケツーリズムを推進しています。

ロケツーリズムとは

映画やドラマなどの撮影地を観光資源として活用し、地域の魅力発信や来訪促進を図る取り組みです。作品をきっかけにロケ地を訪ねる「聖地巡礼」が生まれ、飲食・宿泊・買い物などによる地域経済の活性化にもつながります。市では、ロケ地マップを作成・配布し、ロケツーリズムを推進しています。

「ロケのまち旭」を目指して

旭市は、都内からのアクセスの良さに加え、海などの自然、病院や公共施設、宿泊施設まで多彩なロケーションが近接しているのが強みです。

市では、映像制作者がスムーズに撮影できるよう、官民一体となって支援する「あさひロケーションサービス協議会」を立ち上げ、ロケ地の紹介や関係機関との調整、撮影時のサポートなどを行っています。



何度も足を運ぶうちに 印象が変化した旭市

伝説のドラマシリーズが映画に。話題性も十分な本作を彩るのは、海、山、川とさまざまなロケーション。旭市でも市役所や旭中央病院、いいおか潮騒ホテルなどで撮影が行われました。中村雅俊さんの監督としてのこだわりの一つは「セリフだけじゃない、実景などで心象を描ければ」ということでした。ロケ地は重要なパーツであり、中村さんはロケハンには全て同行



しました。そんな中で、旭市はイメージにぴったりだったそうです。

「自分たちが撮ろうとしているイメージに合っていて。特に病院のシーンは、すごく大切だったんですよ。もうメインです。そこはキメないというシーン。(旭中央病院は)最初に行ったときから、グズ六(秋野太作)と歩いてきて、オメダ(田中健)が…という芝居の動きがつけやすいロケ地でしたね」。

旭市について「最初は遠いという印象だった」。しかし、何度も足を運ぶうちに「ロケ地としても最高なんですけど、撮影に対して皆さんが好意的で、すごくやりやすかったですし、本当に良くしていただいて、いいところだっただんどん変化していったんですよ。今は、旭市で撮影できて良かったと思っています」とのこと。

ロケハンに行き、限られた時間でイメージを膨らませ作品にフィットさせていくことは「大変でした」としつつも「楽しさもあった」と話す中村さん。楽しさは、撮影中も編集作業時にもあり「結果として全体的に楽しかった」と笑顔を見せました。

「監督としてやるべきところまでやった、けっこうな山を越えたという達成感があります。お客様が入るかという不安もあるんですけど…。子どもを産んだ気持ちになったような(作品には)それくらいの愛おしさがあります。旭市の方々には大変お世話になりましたし、皆さんも一緒に作品を盛り上げていただけたらうれしいですね」と話していました。



プロフィール

中村雅俊

1951年生まれ、宮城県出身。1974年、ドラマ『われら青春!』の主演でデビュー。ドラマ挿入歌で歌手としてもデビューし、以降毎年全国コンサートを開催。ドラマ、映画、CMなど幅広く活躍する。

STORY ストーリー

70代を迎えたカースケ(中村雅俊)、オメダ(田中健)、グズ六(秋野太作)。平穏な日々を過ごしていたある日、オメダがカースケの元へ。さらにグズ六から病死した元恋人が生きていると聞き…。



映画「五十年目の俺たちの旅」

企画・脚本：鎌田敏夫
監督：中村雅俊
配給：NAKACHIKA PICTURES
出演：中村雅俊 秋野太作 田中健/前田亜季
水谷果穂 左時枝 福士誠治/岡田奈々
©「五十年目の俺たちの旅」製作委員会

ロケーションジャパンで 旭市が紹介されました

雑誌「ロケーションジャパン」10月号に、市内で撮影された作品の紹介やロケ支援の取り組みが特集されています。

